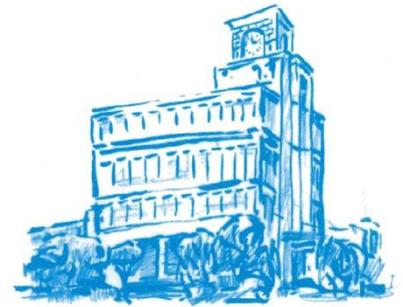


令和5年9月号 (No.250)

## 研修を振り返り自身の成長につなげる

伊丹市立総合教育センター  
所長 山下 拓志郎

今年も、総合教育センターでは教職員の資質の向上をめざし、全国的に活躍されている講師等による夏季研修会を実施しました。研修では、延べ1,000人を超える先生方が参加され、多くの学びを得ることができたのではないかと思います。



今回の夏季研修会において、最も多く聞かれたキーワードが『心理的安全性』です。この言葉は、12年ぶりに改訂された「生徒指導提要」や「令和の日本型学校教育を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」等において、たびたび出てくる言葉です。

「心理的安全性」とは、組織行動学を研究しているハーバード大学ビジネススクールのエイミー・エドモンドソン教授が提唱した心理学用語であり、「周囲の人々の反応におびえたり、羞恥心を感じたりしない状態」のことです。チーム内でお互いにどのような意見を言っても拒絶される心配のない環境を意味します。「心理的安全性」が高い組織においては、コミュニケーションが盛んに行われるなど、優れた成果を出すことができると言われています。この夏も、「心理的安全性」を意識しておられた講師がおられ、そのような研修会では、参加者も笑顔で積極的に学んでおられました。

今後、各校における授業や職員会議、研修会等において、自分の思っていることを安心して発言することができたり、トラブルの際にも個人を責めるのではなく解決策をみんなで考えることができたりする環境が構築されれば、間違いなく子どもたちも教師も笑顔が増え、学びや仕事に対する意欲がさらに高まると思います。夏季研修会では、「心理的安全性」の他にも、今後の教師生活に役立つ多くのキーワードが共有されました。研修会における「学び」をもう一度振り返り、理論を実践化することで、実践を理論化することで、さらに大きく成長されることを願っております。

# 理論を实践に 实践を理論に

## 心理的安全性とは

- ◎ 組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態
- ◎ チームの他のメンバーが自分の発言を拒否したり、罰したりしないと確信できる状態  
ハーバード・ビジネス・スクール教授 エイミー・エドモンドソン



## 授業で心理的安全性の高い状態をつくるために

- ◎ 相手の意見を否定せずきちんと受け止めるという話し合いのルールづくり
- ◎ 失敗を許容できるように、失敗しても間違ってもいいという環境づくり
- ◎ 発言が特定の子どものみに偏らないような環境づくり

## 心理的安全性の4要素

### 「話しやすさ」

意見の表明や違和感の指摘が誰でもできる

### 「助け合い」

相談し合える雰囲気があり、トラブルの際にも個人を責めるのではなく解決策を考える

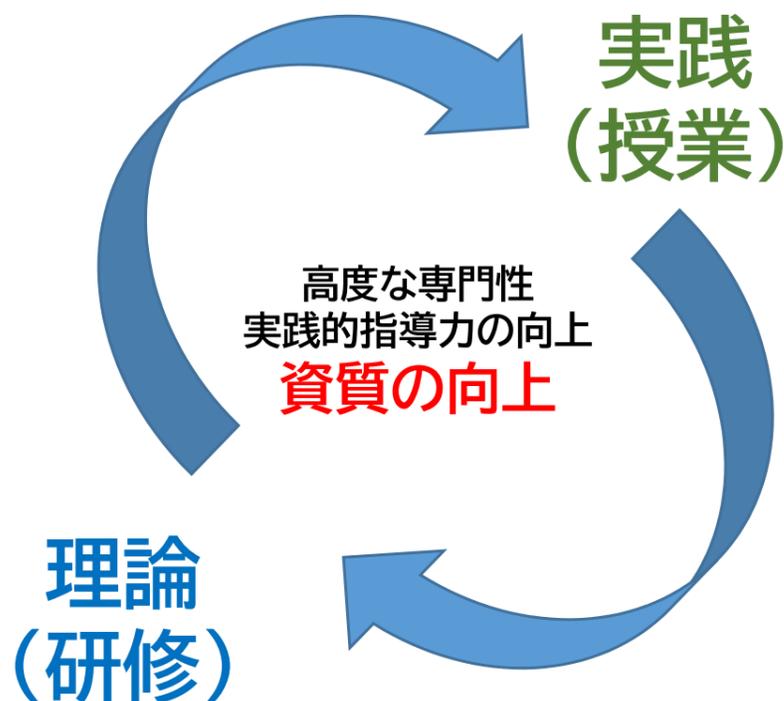
### 「挑戦」

おもしろいアイデアを共有しあえるなど、チャレンジや挑戦が歓迎される

### 「新奇歓迎」

新しいものの見方を歓迎できる

心理的安全性のつくりかた(石井遼介著)



## 教師の心理的安全性

評価や批判を恐れずに、新しい教育方法やアイデアを試すことができると、教育実践の質や効果が向上し、教師同士の学び合いや協働が活発になる



教師の心理的安全性が子どもたちの心理的安全性につながる

## 子どもたちの心理的安全性

自分の考えや気持ちを自由に発言・発表できると、学習に対する興味や関心が高まり、自分の意見を尊重されることで、自己肯定感や自信がつく

## 夏の研修で共有されたキーワード

- ・ 主体的・対話的で深い学び
- ・ 個別最適な学びと協働的な学び
- ・ ICT(生成AI)の活用



研修を授業に！  
理論と実践の往還を！

## 第2回初任者研修(市関係)及び若手教員のためのスキルアップ講座

### 保護者対応

3年次ミドルリーダー養成研修と合同開催し、保護者対応について、ミドルリーダーが指導役として1名に対し、若手教員1名～2名を1グループとして、事例をもとに研修を行いました。

『ミドルリーダーの先生とお話することで自分にない視点をもつことができた。今後も定期的に他校の先生と交流する機会があれば良いと思った。』

『ミドルリーダーの方の経験や考えに触れ、事例と一緒に考えることで、自分にはなかった考えを持つことができた。また、今の悩みを話す機会を設けてくださったおかげで二学期も頑張ろうと前向きになれ、聞いた意見を実践して子ども達に還元したいと思った。』

**キーワード**  
報告・連絡・相談  
情報共有  
早期対応・初期対応  
コミュニケーション  
感想より抜粋



『常日頃から保護者の方と連絡を取り合い関係を密にする必要性を感じた。子どもの気になる部分はもちろん、良いところもお伝えすることで、安心感が持てると思ったので2学期から関係づくりを頑張りたい。』

『一つの事例に対して見ている視点や、対応の引き出しの多さが先輩教員は違うなと感じた。もちろん経験を通して培われているのだろうが、今回のように直接教えていただけなのは、すごく勉強になった。』

### 不登校対応

不登校対応講座では、不登校の現状と事例をもとに研修を行いました。

『子どもたちの表情の変化、言動の小さな変化をしっかりと見ることが何よりも大切であり、学級づくりの第一歩であるように思った。』

『生徒に対しての想いは、必ず伝わるとは限らないし、対応方法に関して正解はない。しかしそこであきらめるのではなく、学年、学校全体でサポートすることで、伝わるが多くなると思った。生徒の表情や声などで小さなSOSも見逃さないように、毎日まっすぐに生徒と向き合えるように自分の心身も整えていこうと思った。』



『日々子どもたちの表情や様子の変化に気づくことができるように、しっかりアンテナをはって関わられるようにしたい。』

『未然防止と「わかる授業」を実践し、また早期発見につながるよう子どもの小さな変化に気づき、動ける教員になりたいと思った。』

**キーワード**  
雰囲気づくり・学級づくり・環境づくり  
わかる授業づくり  
報告・連絡・相談  
小さな変化への気づき  
信頼関係  
感想より抜粋

発行 伊丹市立総合教育センター  
所在地 〒664-0898伊丹市千僧1丁目1番  
TEL 072-780-2480  
FAX 072-780-2482  
開館日 月・火・木・金：9:00～21:00  
水・土：9:00～17:00  
休館日 日曜・祝日、年末・年始  
総合教育センターHP <https://www.itami.ed.jp>

<教育相談>  
電話 072-772-6171 (電話相談)  
072-780-2484 (来所相談)  
お子様に関する様々な悩みや課題、  
問題等の相談に応じています。  
(来所・電話相談)  
月・火・木・金：9:00～18:00  
水・土：9:00～17:00

### 令和5年度連載 (ICT活用事例集)

#### 第6回 小学3年生 国語 単元「へんとつくり」

ねらい

「へん」と「つくり」をパズルにして、漢字のつくりを体感する。

活用効果

1ピースではわからないときも、パーツを動かすことで知っている漢字にすることができた。

この体験では習っていない漢字でも作成している姿を見ることができ、次に自分で漢字問題を作る活動につなげることができた。

